



語りつづける物語



つぎの未来

3月11日を あそぶ

東日本大震災を記憶する証言集
長篇ドキュメンタリー映画



石巻・小門・勝太郎・は



3月11日を生き抜く

石巻・門脇小・人びと・ことば



○石巻先行上映会場での声

「この映画は、ことばを観る映画ですね」
「体験を記憶し、伝え継いでいくには、その体験をことばにすることが大切だと思います」
「わたしのこどもが過ごしたあの日の事を今初めて知ることができました」

【解説】

東日本大震災で宮城県石巻市の小学校は、被災14校、死亡・行方不明の児童186人という大きな被害を受けました。海岸から800mの場所に建つ門脇小学校もその一つです。

かつて体験したことのない大地の揺れと迫りくる大津波。そのとき、児童は、教職員は、保護者家族はどのように行動したのか？

震災後の門脇小学校にカメラを据えて11か月、この映画は、3月11日午後2時46分から12日朝までの約16時間を、37人の「ことば」で紡いだ作品です。

【製作委員会から】

東日本大震災直後、宮城県の教職員仲間で教育現場の報告・交流集会を開き、私たちに何ができるのか話し合いました。その結果、阪神淡路大震災を記録した青池憲司監督に、映像記録づくりを依頼しました。すさまじい被害の報道が溢れる中で、私たちは、未来に向かって生きていかなければならない被災地の人びと、とりわけ子どもたちの現在・未来に焦点を当てようと、5月に映画製作委員会を発足させ、撮影を開始しました。約1年、石巻市立門脇小学校を中心に人びとの生活に寄り添い、200時間以上の撮影をしてきました。この秋には、本作に続く、門脇小学校と地域の1年間を綴った記録映画も完成します。



【スタッフ】

製作：映画「宮城からの報告～こども・学校・地域～」製作委員会
代表 阿部和夫 事務局長 佐藤進
編集：村本勝 撮影：一之瀬正史
録音：滝澤修 音楽：森拓治
語り：三國裕子 宣伝美術協力：玉瀧ヒロユキ
助監督：尾崎日出夫
監督：青池憲司 [2012年/97分/HD]

【作品のお問い合わせ】

* 作品DVDを販売しています
個人 = 5,000円 団体・図書館 = 20,000円 送料 = 180円
* みなさんの地域で自主上映会を開いてください
* DVD購入と上映会などの詳細は下記へお問い合わせください
映画「宮城からの報告」製作委員会/事務局長：佐藤進
住所：〒982-0013 仙台市太白区太子堂5-20 電話：090-2955-7868
E-mail：dorian@mrg.biglobe.ne.jp
HP：http://www.miyagireport.org/

【日時】2012年8月21日(火)

第1回目 開場・受付 15:00
監督あいさつ 15:30
上映開始 15:50
第2回目 開場・受付 18:30
上映開始 19:00

【参加費】無料

【会場】
仙台市情報・産業プラザネットU 多目的ホール(アエル5階)

【主催及び問合せ先】
特定非営利活動法人 せんだい社の子ども劇場 TEL&FAX 022-375-3548

【後援】宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県私立幼稚園連合会、仙台市私立幼稚園連合会、河北新報社